

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05020361

政策目標	2	めぐもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	10	地域福祉の推進	事業優先度	B		
単位施策	1	福祉意識の醸成	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	社会福祉協議会福祉車両貸出事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	5 保健福祉課		
事業主体	雄武町社会福祉協議会		関係課	#N/A		
事業指標	福祉車両貸出事業の実施		関係課	#N/A		
事業目標	経費の一部負担		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加	無		関係例規・法令名	無		
住民協働	無		関係個別計画名	有 障がい者計画		

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計 画 内 容	社会福祉協議会が実施する車いす対応車両を町民へ貸出、運転者が確保できない場合のハイヤー会社運転手借上に係る経費の一部を負担する。	運転手借上経費の一部を負担する。	運転手借上経費の一部を負担する。	運転手借上経費の一部を負担する。	運転手借上経費の一部を負担する。	運転手借上経費の一部を負担する。
	負担割合 社協 3分の1 町 3分の2					
計 画 事 業 費	事業費(千円)	700	100	150	150	150
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	700	100	150	150	150	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	131	82	49	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	131	82	49			
特定財源の名称	【評価・実績】	(実施内容等) 福祉車両貸出における運転手借上	(実施内容等) 福祉車両貸出における運転手借上	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
前期計画からの継続	年度目標値	経費の一部負担	経費の一部負担	経費の一部負担	経費の一部負担	経費の一部負担
	年度達成率	82%	33%	0%	0%	0%
第6期計画への継続	全体達成率	12%	19%	19%	19%	19%
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆			

事業名	社会福祉協議会福祉車両貸出事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	豊田通敏
		評価者 作成者 職氏名	社会福祉係長	内宮真希

様式1  
平成26年度実施  
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	車椅子を使用して生活している者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	貸出事業の利用回数		
【抱える課題やニーズは】	車椅子利用者は社会福祉協議会から福祉車両を利用して移動することが可能であるが、運転する者がいない場合は利用が難しい。		①	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	運転者を手配できない車椅子利用者であっても、福祉車両を利用することで安全に町内を移動することができる。			貸出事業利用回数	目標年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	障がいを抱える人が安心して生活することができ、より一層生活の質が向上する。		目標値		110回
			実績値	110回	
			達成度	100.0%	
		②	目標年度	平成26年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	#DIV/0!%	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	福祉車両運転手の借上げ経費負担	福祉車両利用者の運転手借上げ経費の一部を町で負担した。			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	障がいを抱える人が安心して町内を移動することができる。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	福祉車両を利用することによって、障がい者の生活が安定した。また福祉車両も有効に活用された。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由	経費の3分の2に相当する額を町が負担し、残りの金額は社会福祉協議会が負担した。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

概ね公平	判断の理由	福祉車両自体が利用者を限定するものである。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input checked="" type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平でない	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
福祉車両の有効活用がなされ、障がいを持つ人の生活の質が向上した。		

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持		
少数ではあるがニーズは確実にあり、公共の福祉の観点からも継続が必要と判断する。		

※展開方向の区分  
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止